

安全・安心で良好な教育環境を ～小学校と幼稚園の改築～

◇事業目的

小学校および幼稚園施設は、児童・幼児の学習の場であり、一日の大半を過ごす生活の場である。災害時には地域住民の避難所としても活用することから、その安全性の確保は重要である。

このため、小学校および幼稚園施設を改築し安全・安心で良好な教育環境をつくる。

◇事業内容

1. 芳水小学校の改築

平成 29 年度に引き続き、改築工事を行う。（平成 30 年 12 月：第Ⅰ期工事 竣工）
外構工事等を含む第Ⅱ期工事に着手する。（平成 32 年 5 月：第Ⅱ期工事 竣工）

2. 城南小学校および城南幼稚園の改築

平成 29 年度に引き続き、改築工事を行う。（平成 32 年 2 月：校舎改築工事 竣工）

3. 後地小学校の改築

8 月より校舎改築工事を行う。（平成 32 年 2 月：校舎改築工事 竣工）

4. 鮫浜小学校の改築

改築工事に伴う実施設計を行う。

平成 31 年度からの改築工事に備え、仮設校舎建設等を行う。

5. 浜川小学校および浜川幼稚園の改築

改築工事に伴う基本設計を行う。（平成 31 年度に実施設計）

6. 第四日野小学校の敷地測量委託

改築工事に伴う敷地測量を行う。（平成 31 年度に基本設計）

◇事業予算

6, 3 8 9, 3 2 6 千円

(内訳)

芳水小学校改築工事等	3, 584, 245 千円
城南小学校・城南幼稚園改築工事等	1, 684, 025 千円
後地小学校改築工事等	914, 382 千円
鮫浜小学校改築工事等	115, 174 千円
浜川小学校・浜川幼稚園改築基本設計等	86, 100 千円
第四日野小学校敷地測量委託	5, 400 千円



城南小学校完成予想図

問い合わせ：(小学校) 教育委員会事務局 学校計画担当課長 電話 03-5742-6045
(幼稚園) 子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-6722



就学援助「新入学学用品費」の増額と支給時期前倒し

◇事業目的

就学援助で新1年生・新7年生に支給している新入学学用品費について、支給額の増額および支給時期の前倒しを行い、経済的理由により就学困難な者への対応をより一層充実させる。

◇事業内容

1. 新入学学用品費の増額

平成30年度の就学援助から新入学学用品費を国庫補助金に準じて増額

学年	変更後	現行	差額
新1年生	40,600 円	23,890 円	16,710 円増額
新7年生	47,400 円	26,860 円	20,540 円増額

2. 新入学学用品費の入学前年度支給（支給時期の変更）

入学後に支給していた新入学学用品費を平成31年度入学予定者から入学前年度に支給

○新1年生

入学前年度2月に支給（要申請）

○新7年生

入学前年度3月に支給（6年生時に就学援助を受給している世帯）

◇事業予算

65,573千円

（内訳）

新入学学用品費の増額	18,126 千円
新1年生増額差額分（550人）	9,191 千円
新7年生増額差額分（435人）	8,935 千円
新入学学用品費の入学前年度支給	47,447 千円
新1年生支給分（600人）	24,360 千円
新7年生支給分（470人）	22,278 千円
新1年生通知・事務用経費等	809 千円

問い合わせ：教育委員会事務局 学務課長 電話 03-5742-6827

品川コミュニティ・スクールの推進

◇事業目的

平成 28 年度から開始した品川コミュニティ・スクールについて、3 年目となる平成 30 年度に区立学校全校展開という一つの区切りを迎えることとなる。国の動向等を踏まえながらも、品川区独自の施策として今後さらに各学校での取り組みを充実させていくとともに、区内全体に制度・取組を周知して意識の高揚につなげ、学校と地域が連携・協働して子どもたちを育てていく仕組みづくりを推進する。

◇事業内容

1. 品川コミュニティ・スクールの全校展開

全校に校区教育協働委員会と学校支援地域本部を設置して、地域人材の有効活用など地域の教育力の活性化を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。また、各学校に配置した学校地域コーディネーター（非常勤職員）が学校と地域をつなぐ役割を担う。

2. 品川コミュニティ・スクールフェスタ（仮称）の開催

品川コミュニティ・スクールの取り組みについて地域住民や関係者等の理解を促進するため、意見交換することを通して、地域と学校の協働体制の強化につなげるため、品川コミュニティ・スクールフェスタ（仮称）を実施する。

【開催概要】

- (1) 日時：平成 31 年 1 月 19 日（土）
- (2) 会場：義務教育学校 アリーナ
- (3) 内容：学校地域コーディネーターによる取り組み事例の発表、学校支援ボランティア活動の紹介、参加者との懇談等

◇事業予算

86,937 千円

(内訳)

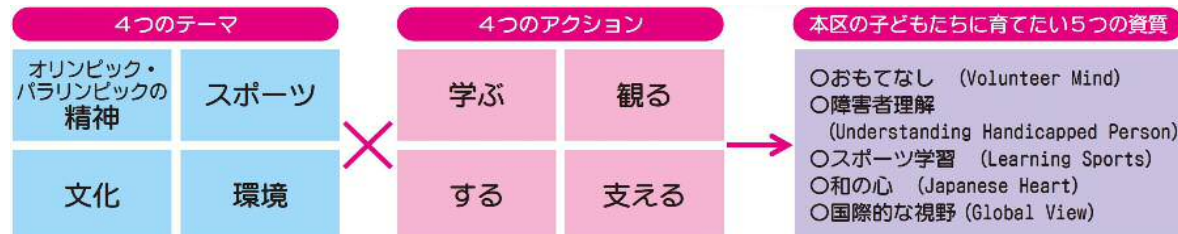
校区教育協働委員会経費	13,155 千円
学校支援地域本部事業経費	66,679 千円
品川コミュニティ・スクールフェスタ(仮称)開催経費	7,103 千円

問い合わせ：教育委員会事務局 指導課長 電話 03-5742-6830

オリンピック・パラリンピック教育の推進

◇事業目的

区立学校の全ての幼児・児童・生徒が、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や、その果たす役割を正しく理解するとともに、区内開催競技等について学び、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への興味・関心を高める。



◇事業内容

1. 世界ともだちプロジェクト～日本を知る、世界を知る～

各校がそれぞれの「学習・交流国」5カ国について調べるとともに、大使館などの外国人との交流を通じて、あらためて日本の良さに気付く機会とする。



2. 区独自の学習教材「ようい、ドン！しながわ」の作成・配布

本区と関連するオリンピック・パラリンピックの4つのテーマについて理解を深め、自分たちにできることを真剣に考え、積極的に関わろうとする意欲を高める。



3. 競技体験および競技選手との交流

区内開催・応援競技（ホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカー）の体験教室を開催し、幼児・児童・生徒が選手との交流等を通じて、本物の競技に触れられるようにする。

4. 教員向け研修の実施

教員自身が障害者理解を深めることで、指導に生かすことができるよう、教員対象のブラインドサッカー体験研修を実施する。

5. 実践事例集の作成・報告会の開催

教員用実践事例集を作成するとともに、オリンピック・パラリンピック教育アワード校やパラリンピック競技応援校の報告会を開催し、区内全体のオリンピック・パラリンピック学習の一層の推進を図る。

◇事業予算

22,850千円

(内訳)

児童・生徒向け教材作成等	1,441千円
競技体験教室謝礼	6,361千円
教員向け実践事例集作成委託等	848千円
東京都委託事業	14,200千円

問い合わせ：教育委員会事務局 指導課長 電話 03-5742-6830

教職員の働き方改革「しながわ働き方ルネサンス」

◇事業目的

学校を取り巻く環境が複雑化、多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、教員の長時間勤務が社会問題となっており、働き方改革を早急に進めていく必要がある。

教育委員会では、教員の負担を軽減し、児童・生徒に余裕を持って向き合えるよう「学校働き方改革（しながわ働き方ルネサンス）」を推進している。平成 29 年 9 月から、区内公立学校において、定時退勤日を設定し、勤務時間削減に努めている。

平成 30 年度においては、同取組に加え、教員の事務作業を補助するスクール・サポート・スタッフ等の配置や、学校管理職が自校の教員の勤務時間を把握できる体制を整えることにより、より一層の「学校働き方改革（しながわ働き方ルネサンス）」を推進していく。

◇事業内容

1. スクール・サポート・スタッフの配置【新規】

教員の事務作業をサポートするため、概ね 500 人以上の児童・生徒数を有する 13 校にスクール・サポート・スタッフ（非常勤職員）を配置する。

（活用例）学習プリントの印刷・配布準備、授業準備補助、学校行事の準備補助等

2. 教員の在校時間集計に向けたシステムの開発【新規】

平成 19 年度から教員の出勤・退勤時刻をタイムレコーダーで把握している。これらの集計により、週当たり、月平均、職層別等のデータを作成し、様々な在校時間データを定期的に学校管理職に提供することで、学校管理職が自校の教員の在校時間をより多角的に把握し、在校時間の縮減に取り組む意識を促す体制を整える。

◇事業予算

29,250 千円

（内訳）

スクール・サポート・スタッフ人件費 22,801 千円

在校時間集計他システム開発費 6,449 千円

◇関連事業

働き方改革の取り組み

区職員の働き方改革「しながわ〜く」の推進（企画調整課・人事課）P10

多様な働き方を積極的に応援（商業・ものづくり課）P22

問い合わせ：教育委員会事務局 指導課長 電話 03-5742-6830

【新規】高齢者を支援する図書館づくり

◇事業目的

超高齢社会に対応するため、誰もが来館できる区施設である図書館において、認知症カフェ等の高齢者支援事業を展開するとともに、区民の求める高齢者関連資料を収集・提供し、「区民の知りたい」に応える図書館づくりを目指していく。

◇事業内容

1. 高齢者福祉課や在宅介護支援センターと連携し、図書館で「認知症カフェ(※)」「認知症サポーター養成講座」を開催し、高齢者のご家族等を支援するとともに、区民の認知症に関する理解を促進し、認知症サポーターを養成する。
※ 認知症カフェ…認知症の人やその家族、地域の人が気軽に集い、介護福祉や医療の専門職へ相談したり、同じ境遇の人との相互交流を通して、介護負担の軽減や、悩みの解消に役立てられる交流の場
2. 図書館として高齢者関連資料を充実させ、来館や資料貸出等の図書館利用を拡大させる。
3. 認知症の正しい理解と周知のため、庁舎ロビーや各図書館で認知症に関する展示や特集を実施する。

◇事業予算 1, 3 3 1 千円

(内訳)	認知症カフェ開催経費	252 千円
	認知症サポーター養成講座開催	144 千円
	資料費・ブックリスト費	935 千円

◇関連事業 認知症カフェ運営支援事業等（高齢者福祉課）



認知症普及啓発キャラクター
くるみちゃん



認知症サポーター養成講座

問い合わせ：教育委員会事務局 品川図書館長 電話 03-3471-4667

区議会 本会議場等のバリアフリー化を推進

◇事業目的

品川区議会では「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の対応や議会改革の取り組みの一環として、誰にでも分かりやすい開かれた議会を目指し改善を進めている。

これまで、区議会の本会議場等については、平成 21 年度に傍聴席に昇降機を設置し、平成 26 年度には本会議場に磁気ループを設置するなどバリアフリー化を進めてきた。

また、本会議中継をインターネットやケーブルテレビで配信し、本会議を自宅等で視聴できる環境も整備してきた。

平成 30 年度は、本会議場等のバリアフリー化を推進する。

◇事業内容

1. 本会議場演壇の車いす対応への改修【新規】

現在、本会議場の演壇に段差があるため、車いす利用者が質疑等を容易に行うことができない。今回、この段差を解消し、演台自体を上下に電動で動かすものへと改修し、車いすのまま質問や発言ができるようにする。

2. 議会棟のだれでもトイレの設置【新規】

議会棟 5 階のトイレを「誰でもトイレ」に改修し、誰もが本会議や委員会を傍聴できる環境を整備する。

3. 耳のきこえにくい方への対応

全ての委員会室に難聴者支援機器を設置し、利用希望のあった傍聴者に受信機を貸し出す。機器の設置台数は、送信機は 1 台から 5 台に、受信機は 3 台から 17 台となる。

◇事業予算 19,467 千円

(内訳)	演壇の車いす対応への改修	6,446 千円
	スロープ、手摺設置工事	4,700 千円
	自動昇降式演台等購入	1,746 千円
議会棟	誰でもトイレ設置	12,300 千円
難聴者支援機器購入		721 千円



問い合わせ：区議会事務局 事務局長 電話 03-5742-6807